

=====

5 . English Grammar in Business Context 投稿例

=====

9月3日：第8回 Unit18-20 Used to/Present tenses/going to

第8回目のユニットは

Unit18: Used to do

Unit19: Present tenses for the future (現在形の未来用法)

Unit20: I'm going to do

です。

今週のポイント

今週は過去の習慣や状態を表す「used to do」、
未来を表す現在形 / 現在進行形 / be going to do でした。

それぞれ注意点がありますので、用法と合わせて押さえておいてください。

used to do

1. 過去の習慣 (現在はその習慣はなくなっている)
2. 過去の状態 (現在はその状態ではなくなっている)

を表す時に使います。

<注意>

発音：

used の部分は「ユース」と発音します (to と合わせて「ユーストゥー」)、
「ユーズド」ではないので気を付けてください。

疑問文：

Did you use to ~ ? となります。(use の発音はあくまで「ユース」)

「Did you used to ~ ? 」にしないよう気を付けてください。

否定文：

didn't use to となります。

「didn't used to」にしないよう気を付けてください。

be used to との区別：

be used to は「～に慣れている」という意味です。

発音も同じで間違い易いので気を付けてください。

未来を表す現在進行形 / 現在形 / be going to do

1. 現在進行形

- (1) 何かをやることを決意し、実行するためのアレンジも済ませたこと
- (2) まさにこれからやろうとしていること

2. 現在形

- (1) 時間割、時刻表、スケジュール、プログラムなど時間が決まっていること
- (2) 時間割のように定まった計画

3. be going to do

- (1) やろうと決意したこと(でも実行するためのアレンジまではしてないかもしれない)
- (2) 必ず起こるとはっきりしていること

を表す時に使います。

<注意>

1(1)と3(1)の違い:

違いは極めて小さいので、実際は、やろうと決意したことに対してはどちらも使っても差し支えありません。

3の過去形

やろうとしたけどやらなかったこと、必ず起こると思ったけど起こらなかったことを表す時に使います。

逆に、やろうとしていて実際にやったこと、必ず起こると思っていて実際に起こったことについては使えませんが気を付けてください。

Tips for Business Communications

ここでの解説を理解し、コンテキストによって正確に使い分けられるようになってください。

「used」は過去と現在の状況の違いに注意しながら使い(過去と現在が違う時に使う)、未来のことについては確実性や自分の意思を意識しながら、適切な時制を選んで使いましょ

* * *

来週は will と shall について解説します。

フォーラム説明にある通り、テキストに出てくるエクササイズ等に関する質問だけでなく、英文法に関する質問を広くお受けしていますので、疑問点がある方は気軽に投稿してください。

引き続き頑張っていきましょう!